

2026年6月18日

各 位

会 社 名 株式会社九州リースサービス  
代表者名 代表取締役社長 礪山 誠二  
(コード番号：8596 東証スタンダード市場、福証)  
問合せ先 常務執行役員総合企画部長 小嶋 良一  
(TEL 092-431-2915)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状分析・評価を行い、改善に向けた今後の取組み方針についてアップデートいたしましたのでお知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について(2026年6月アップデート)」をご覧ください。

以 上

# 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

(2026年6月アップデート)



九州リースサービス

東証スタンダード・福証：証券コード8596

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に取り組む当社の特徴・強み

- リースにとどまらない総合金融サービス企業として、成長機会の獲得と企業価値向上を追求
- 九州を中心とした事業基盤と、多様なソリューションの提供を通じて、地域やステークホルダーとともに成長を目指す



### 多様な機能を持つ 総合金融サービス企業

リース・ファイナンス・不動産・フィービジネス・環境ビジネス等を組み合わせ、顧客課題に応じた多面的なソリューションを提供



### 西日本FH連携を軸とした 案件創出力

西日本フィナンシャルホールディングスとの連携を通じて顧客接点を広げ、設備投資、不動産、事業承継等の案件に対する提案力を強化

### 安定的なアセット収益を土台とした 資産回転型のビジネスモデル

収益の源泉となる営業資産を積み上げながら、収益性・効率性を意識した資産入替を併進し、ストック・フローの両面から収益成長



### 成長投資と株主還元の 両立

成長領域への投資を進めながら、累進配当・DOE3%以上の方針により、株主還元の安定性と資本効率向上を両立

# 中長期ビジョンと現中期経営計画

- 2030年中長期ビジョンに基づく、足許3年間の中期経営計画「共創2027 ～つながるチカラで未来を創造する～」を展開

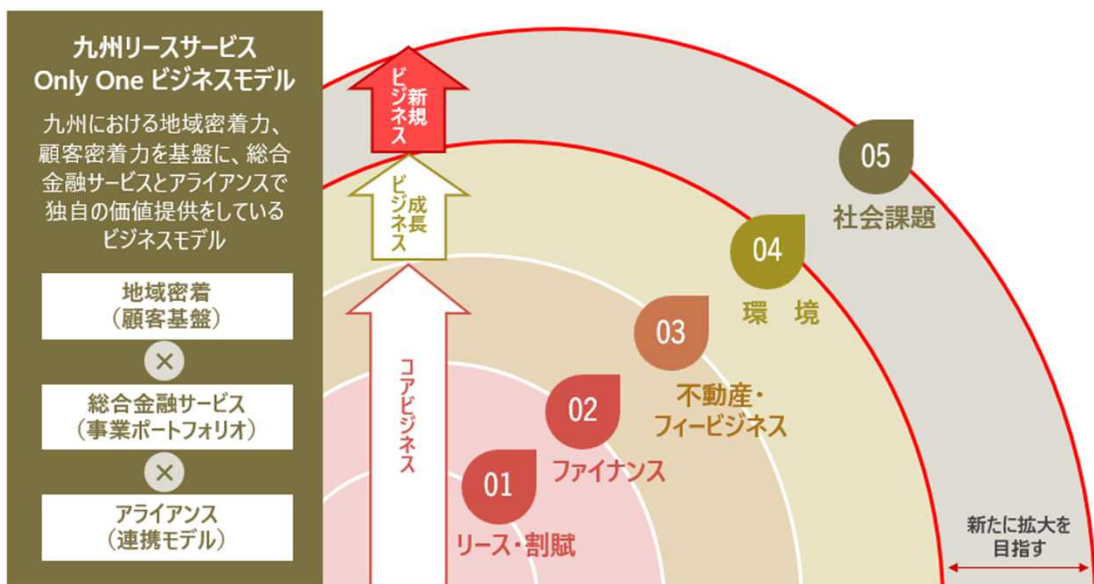
25.3期                      26.3期                      27.3期                      28.3期                      29.3期                      30.3期

## 共創2027 つながるチカラで未来を創造する

## 2030年 中長期ビジョン

総合金融サービスを提供する伴走型企业として、取引先企業の課題解決や社会情勢の変化に対応する

### 「共創2027」における成長戦略イメージ



### 「共創2027」実現に向けた3つの基本戦略

#### 確かな収益基盤の確立

ソリューション強化  
環境分野のステージアップ  
事業規模の拡大

#### 新たな領域の創造

新たなマーケットへの進出  
新たなビジネスへの挑戦

#### 経営基盤強化

未来創造機能の強化 組織体制の強化 人的資本への投資  
持続的成長を支える財務戦略 企業価値向上に繋がる資本戦略

連携

戦略  
パートナー

西日本FH

サプライヤー

顧客企業

ビジネス  
パートナー

## 目指す経営指標 (財務・非財務KPIの進捗状況)

- 収益成長と並行して、収益性や資本効率の向上を実現する観点から、「当期純利益・ROA・ROE」を財務KPIに設定あわせて、事業成長を支える人的資本を充実させるべく、4つの非財務KPIを設定し、各施策を推進
- 足許の進捗は順調。最終年度の今期は、中期経営計画の当初KPIを上回る計画を立て、さらなる向上を目指す

### 財務KPI

	25.3期 実績	26.3期 実績	27.3期 中計KPI	27.3期 今期計画 (5/8開示)
当期純利益	35.7億円	39.3億円	40億円	42億円
ROA	1.81%	1.86%	1.75%超	1.87%
ROE	8.68%	8.95%	8.00%超	9.00%

### 非財務KPI

		25.3期 実績	26.3期 実績	27.3期 中計KPI
エンゲージメント	エンゲージメントスコア	Cランク	Bランク 69.9点	Aランク 70点以上
人材育成投資	研修時間/人	43.6時間 (129%)	44.6時間 (131%)	41時間 (120%)
	研修費用/人 <small>カッコ内は24.3期対比</small>	115千円 (142%)	116千円 (143%)	97千円 (120%)
ダイバーシティ	女性管理職比率	11.5%	10.7%	22%超
健康経営	男女育休取得率	100%	100%	100%

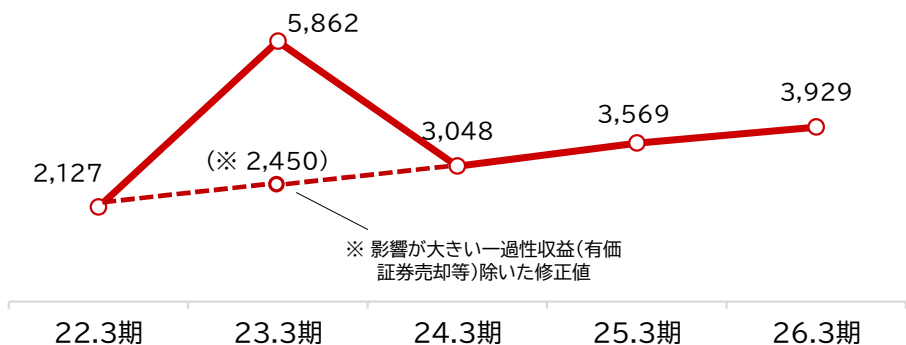
- いずれも計画を上回る実績を確保
- ROA、ROEは前倒しで達成、さらなる向上を目指す

- 人材育成投資はKPIを前倒しで達成。育休取得率も100%維持
- 課題は女性管理職比率。キャリア開発支援を継続

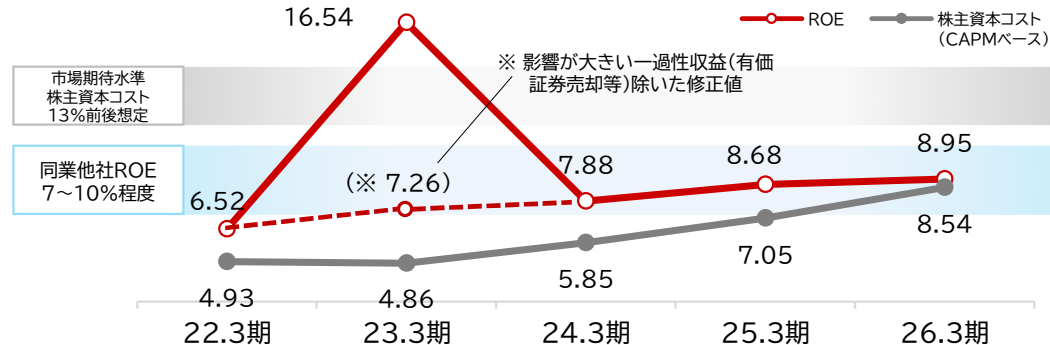
# 現状分析・評価

- 中期経営計画の着実な実行を通じて、当期純利益は増益基調で推移。収益成長に伴って、PBR・ROE・PERともに向上
- 但し、PBRは1倍未満で推移しており、市場期待水準はより高い位置にあると想定され、さらなる改善を目指す必要
- 特に、PERは同業他社を下回り改善余地が大きい。成長期待の醸成不足や投資家との間の情報の非対称性の存在等が要因と認識

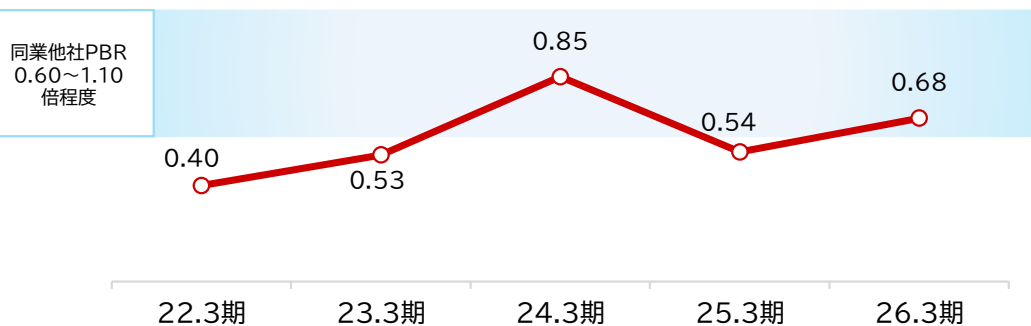
当期純利益 (百万円)



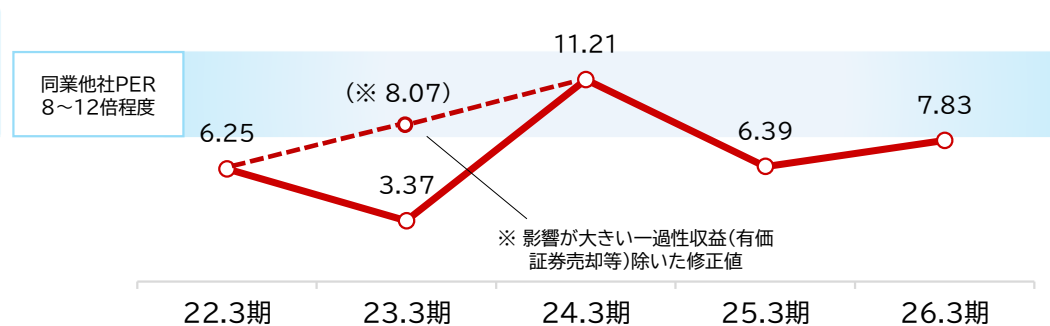
ROE (%) / 株主資本コスト (%)



PBR (倍)



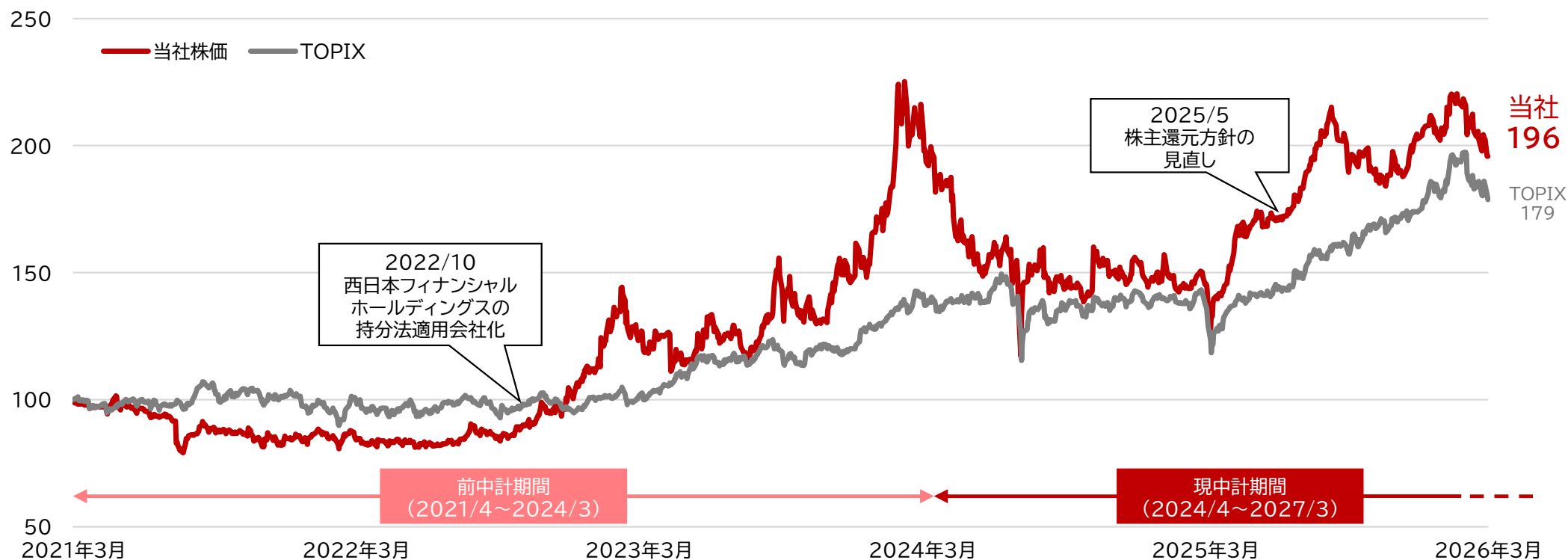
PER (倍)



## 参考：当社株価の推移

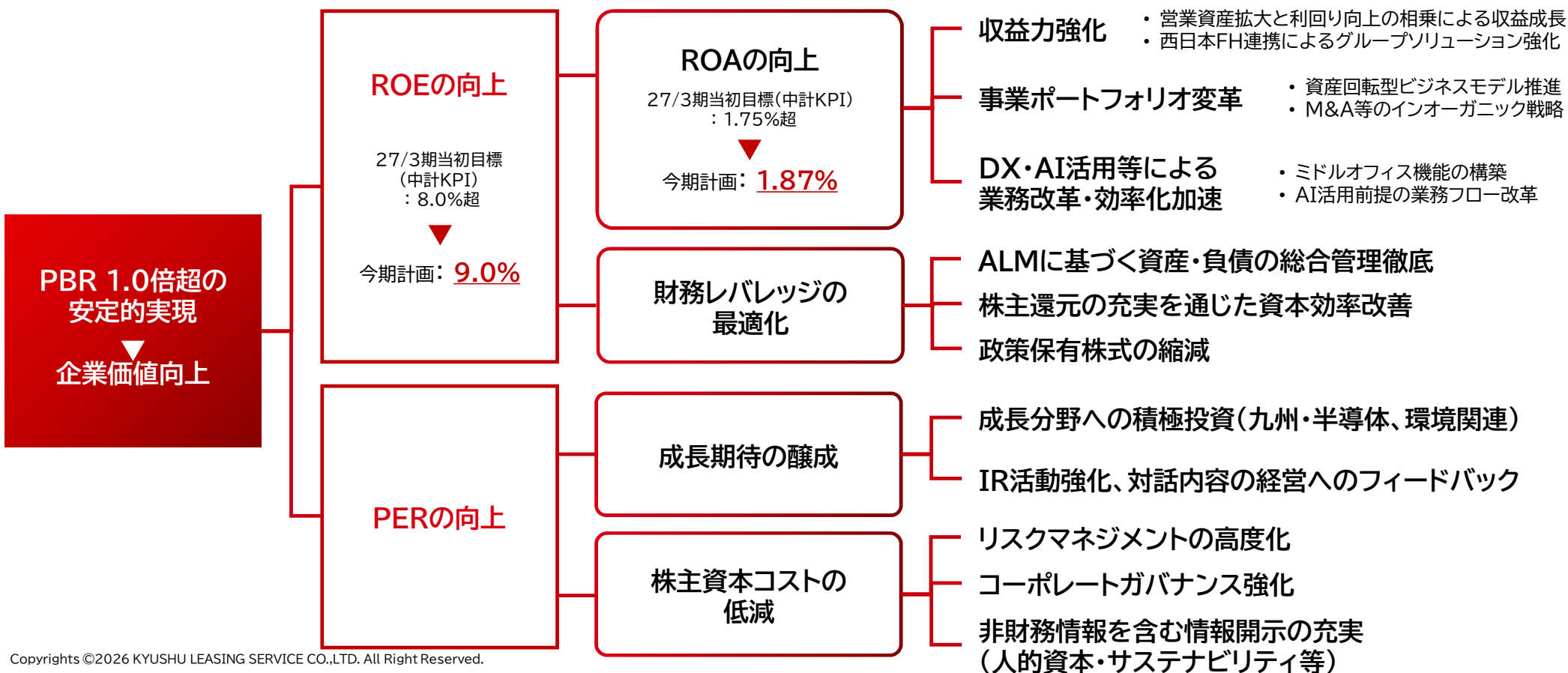
- 前中計期間からの持続的な収益成長の実現、西日本FHとの資本・業務提携、株主還元方針の見直し等の諸施策実行を通じて、当社株価は着実に向上。2023年以降は、TOPIXの伸び率を上回って堅調に推移

株価の推移 (2021/3/31を100として指数化)



# 「資本コストや株価を意識した経営」の実践に向けた対応方針

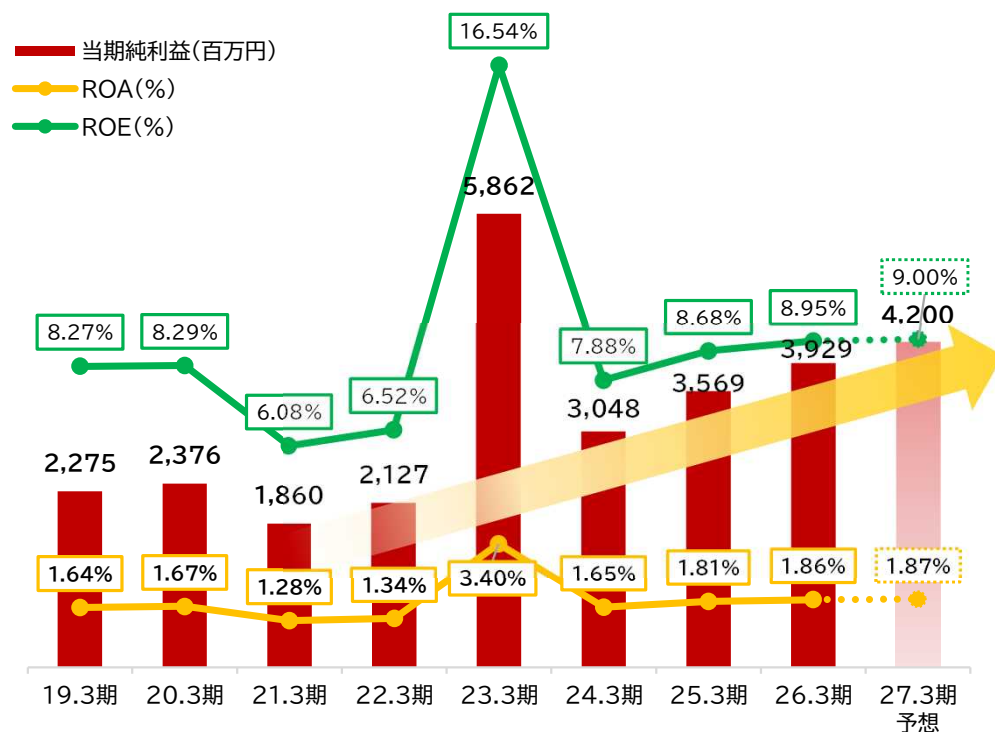
- 当社のPBR改善に向けては、さらなる収益力強化や資本効率改善によるROE向上、資本市場との積極的なコミュニケーションを通じたPER向上が、課題であると認識
- 持続的成長の実現に加えて、積極的なIRから当社への理解促進を図り、成長と期待の好循環を生み出すことでPBR改善を目指す



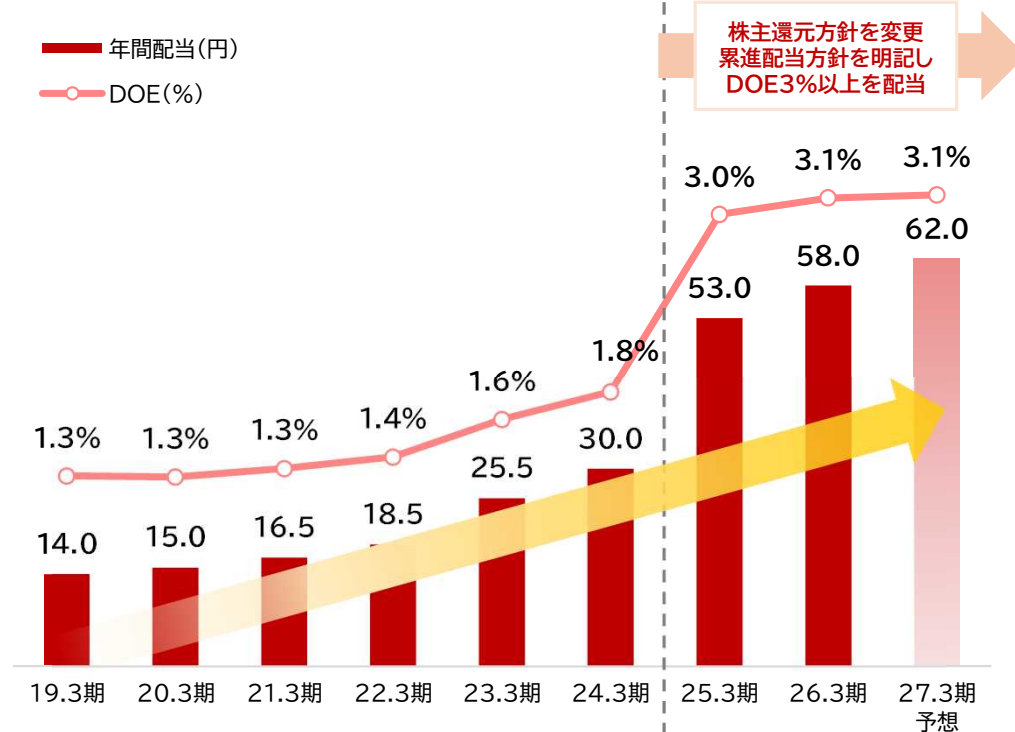
## 27/3期の事業戦略および損益予想・配当予想

- 27.3期は、中東情勢の影響や金利上昇によるコスト増加が想定されるが、営業資産拡大と利回り向上による基礎収益の伸長を継続するとともに、資産入替によるフロー収益の確保にも取組み、中計KPIを上回る成果の獲得を目指す
- 累進配当かつDOE3.0%以上の株主還元方針に沿って配当予定。27.3期予想まで含めて8期連続での増配となる見込み
- 収益力強化と資本効率の改善の両面から事業戦略を展開し、ROEの向上を目指す

業績推移・今期予想



配当実績・今期予想

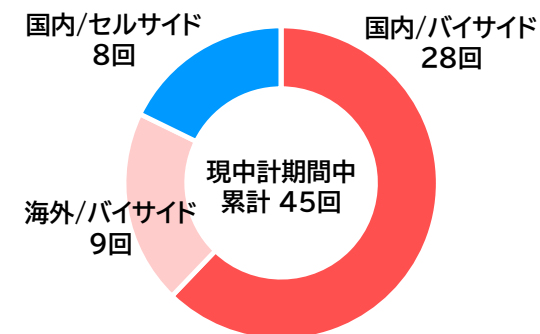


# 資本市場との対話について

- 事業成長を図ると同時に、IR活動の強化を通じて当社の取組みを積極的にアピール  
資本市場との建設的な対話を活用しながら経営の高度化を図り、企業価値向上へつなげる

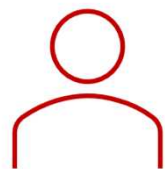
対話機会	現中計期間中の実施状況	主な対応者
決算説明会	年2回の開催 (リアル/Web配信のハイブリッド)	代表取締役社長、 IR担当役員
New! 個人投資家向け 会社説明会	年2回の開催(福岡/東京) (リアル/Web配信のハイブリッド)	代表取締役社長、 IR担当役員
機関投資家・アナリスト 個別ミーティング	年20~30回の面談実施	IR担当部署 (総合企画部)
個別問い合わせ対応	書面・電話応対含め年15~20件程度	総合企画部が窓口となり 人事部・総務部等と連携し対応

## 機関投資家・アナリストとの 個別ミーティング相手の内訳



- 2025年11月、12月に個人投資家さま向けの会社説明会を福岡・東京にて開催  
Web配信を活用し、全国の投資家さまを対象に延べ2,100名超の方がご参加
- **2026年度以降も継続的に実施し、当社認知の定着や新規投資家の開拓等の効果拡大を図る**  
成長期待の醸成や、知名度の向上、情報の非対称性解消に取り組むことで、PER向上へつなげる

- 個別ミーティング内容は適宜、経営会議・取締役会へ報告  
経営へのフィードバックを行いながら社内議論を深化



### 《投資家からのご意見・ご質問》

- ✓ 累進配当とDOEの還元方針は高評価  
配当利回りも高く、投資を検討
- ✓ 九州の半導体需要を踏まえた成長戦略を詳しく知りたい
- ✓ 独自の強みや、他のリース会社との違いがよく分からなかった

### 《当社対応状況》

- 決算説明資料を全面アップデート  
冒頭で当社の特徴を説明し、新規投資家が理解しやすい構成・デザインへ修正
- 外部環境踏まえた機会とリスクを整理し、成長戦略を説明
- 次回、説明会開催時には他社比較を織り交ぜた説明シナリオへ見直し検討

**株主・投資家の皆さまとの  
積極的な対話からIRを高度化  
当社グループの成長性や将来性に  
期待を持っていただけるよう  
ブラッシュアップを継続**



お問い合わせ先

株式会社九州リースサービス 総合企画部

TEL 092-431-2915

ホームページ <https://www.k-lease.co.jp/>

本資料の注意点

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。